

働くものの団結で生活と権利を守り 平和と民主主義・中立の日本をめざそう 3年ぶり第93回山形県中央メーデー開催



発行責任者
勝見 忍
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com/>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

終日雨の中一三〇人が結集 ウクライナ危機に乗じた 九条改憲、核共有を批判

五月一日(日)山形市第二公園で、第九三回山形県中央メーデー集会が開催されました。コロナ禍の影響で集会は三年ぶり。雨天にもかかわらず一三〇人が参加し山形市内でパレードも行った。諸要求をアピールしました。

五月一日(日)山形市第二公園で、第九三回山形県中央メーデー集会が開催されました。吉村美栄子山形県知事の代理で我妻悟・県産業労働部長が、佐藤孝弘山形市長の代理で高橋清真・同市商工観光部長が来賓あいさつ。多くの連帯メッセーが寄せられました。

代表委員の一人である県労連の勝見忍議長は、「世界中の労働者が団結と連帯を示す統一行動日であるメーデーの名において、「プーチン大統領はただちにウクライナへの侵略戦争をやめろ」「民間人を



雨天の中、パレードをする県中央メーデー参加者

「民間人を



県中央メーデー会場に集まった人たち

また日本商工会議所のアンケートで、最賃引き上げの世論が経営者の中でも多数派となったことに触れ、最賃の大幅引き上げによる賃金の底上げは物価高騰対策の点でも有効、最も効果的なのは、すべての商品・サービスの価格が一律に下がる消費税の減税だと強調。一人ひとりの力は弱くても寄せ合えば大きな力になる、今できることを一つでも二つでも実行に移そうと呼びかけました。

県医労連と建交労学童保育支部から各一人が決意表明を行い、医療・福祉・教育現場の労働者の賃上げ・体制拡充等を訴えました。集会の名でメーデー宣言とロシアによるウクライナ侵略抗議声明を採択。ウクライナ人道支援募金が二万四千円あまり集まりました。

各地区でも開催



東置賜地区メーデーのデモ行進

メーデーは五月一日、県内各地区でもそれぞれの地区実行委員会により取り組まれました。第七七回東置賜地区メーデー南陽集会は一七時から南陽市赤湯児童公園で行われ約四〇人が参加。集会后デモ行進も行われました。第九三回メーデー



鶴岡地区メーデーの自動車パレード

鶴岡・田川地区自動車パレードは一〇時から鶴岡公園疎林広場をスタートし、約一〇人が参加。岸田内閣宛に諸要求が、ロシア大使館宛にウクライナへの軍事侵攻に対する抗議文がそれぞれ提出されました。米沢地区メーデースタンディングは十一時から米沢市役所交差点付近で行われ、約十五人が参加。「ウクライナに平和を」「賃金を上げる」などのプラカードが掲げられました。



米沢地区メーデーのスタンディング

三年ぶり 憲法講演会を開催

一人芝居「九条への生還」を上演

憲法記念日の五月三日、県労連も加わる「九条改憲NO!やまがた県民の会」は山形市ビッグウイングで三年ぶりに憲法講演会を開催しました。

して一人芝居が上演されました。右田氏はアメリカのベトナム戦争時、貧困から抜け出すため志望した元海兵隊員で、PTSD（心的外傷後ストレス障害）を患う中、来日し、「憲法九条こそが世界の戦争や紛争をなくす

ことができると確信したアレンネルソン氏（一九四七〇〇九）の生きざまを演じました。ベトナムから帰還後、子どもたちから「人を殺しましたか」との質問に「数えきれないほど殺したただの残虐な殺人者だ」と答えた

われ、軍隊は住民を守らない」と述べ「俺一人やっただけ」と思わずに一歩踏み出す大切さを強調。アフガンで銃撃され死亡した故中村哲医師の言葉を引き「九条により戦争を起さず、絶対に殺し殺されることのない世界をつくろう」と呼びかけました。



佐藤市長（左から3人目）に目録を手渡し感謝状を受け取る勝見議長（同2人目）と山形地域労連の東海林議長（同4人目）、笹原事務局長（同1人目）

県労連は、二〇二〇年七月に山形県で発生した豪雨災害について、全国から寄せられた救援金を被災自治体に寄付してきました。この度、全労連から三度目の送金があり、山形市に十五万円を寄付しました。五月二四日、勝見議長と山形地域労連の東海林良二議長、笹原武事務局長が山形市役所を訪れ佐藤孝弘市長に目録を手渡しました。



憲法講演会で演者に見入る人たち

もたちが私を抱きしめてくれたと感動。人殺しに感情を持つなど強制されたが、出産直後の女性が自分の衣服で赤ん坊の体を拭き、へその緒を歯でかみ切った姿を見て「ベトナム人も同じかけがえのない人間だ」と悟りました。右田氏は、「兵士は虫けらのように扱

ロシア戦勝記念日 ウクライナ支援、 核兵器禁止署名訴え

県労連と県原水協、国民大運動県実行委員会は五月九日、山形駅で「ロシア戦勝記念日プーチン

した。乳飲み子を抱えて署名した二〇代女性は「テレビを見ると心苦しくなる。ロシアは戦争をやめるべきです」と語りました。二八歳の男性は「ロシアは侵略をやめ、すぐに撤退すべきだ」と募金を寄せました。石巻市に実家がある四〇代女性は「東日本大震災に遭ったので、ウクライナの惨状は他人事ではない。テレビをつけるともんもんとし



核兵器禁止署名に応ずる通行人

た気分になる」と、募金してくれました。三〇分間の行動で、一万四千円余りの募金が寄せられました。

災害対策で山形市に義援金